

混ぜるな危険！ 家庭用洗剤に注意

もうすぐ大掃除の季節、年末にかけて家庭用洗剤を使う機会も増えるのではないのでしょうか。過去にトイレ清掃中に、酸性タイプのトイレ用洗剤と塩素系漂白剤を一緒に使用したところ、呼吸困難等の症状が発生した事例がありました。酸性タイプの洗剤と塩素系の洗剤を混ぜて使用すると、有毒な塩素ガスが発生し、大変危険です。「混ぜるな危険」の表示があるモノは混ぜて使わないようにしてください。風呂掃除等に食酢やクエン酸を使うこともありますが、これらも酸性なので塩素系洗剤と混ぜると危険です。

また酸性とアルカリ性の洗剤も一緒に使うと、中和して洗浄効果が減少してしまいます。

原則として2種類以上の洗剤を混ぜたり、前後して使用しないようにしましょう。

以下ここでは、家庭用洗剤の正しい使い方をご紹介します。



○主な洗剤の種類と主成分

種類	主成分	主な用途
酸性タイプ	塩酸、硫酸、有機酸、過酸化水素等	「トイレ用」「漂白剤」「排水パイプ用」等
アルカリ性タイプ	水酸化ナトリウム、水酸化カリウム等	「トイレ用」「換気扇・レンジ用」等
塩素系洗剤	次亜塩素酸ナトリウム等	「カビ取り剤」「漂白剤」「トイレ用」「排水パイプ用」等

○使うときに気をつけること

- ・使用前に使用方法、注意事項をよく読み守りましょう。
- ・ゴム手袋、マスクなどを着用しましょう。
- ・必ず換気しながら使しましょう。万が一有毒ガスが発生した場合、換気していないと室内にガスが充満して大変危険です。
- ・のどや目への刺激や異臭を感じたら、すぐにその場を離れましょう。部屋の外に出て深呼吸してから、水でうがいや洗眼をしてください。
- ・呼吸器疾患のある方は塩素系の製品や、スプレー式の製品を使用しないようにしましょう。
- ・他の製品の容器に移し替えることは、避けましょう。他の容器に残っている薬液と化学反応をおこし危険な場合があります。

換気をしましょう！



○保管するときに、気をつけること

- ・誤飲事故を防ぐためジュースなどの食品と一緒に置かず、食器や飲食容器に移し替えないようにしましょう。
- ・また、子供の手の届かない場所に保管しましょう。
- ・漏出・品質変化防止のため直射日光の当たる場所、高温になる場所には置かないようにしましょう。



○誤飲事故などが起きたら

強酸性、強アルカリ性の洗剤は、吐かせると気道が損傷を受けたりするので、吐かせず、すぐ医療機関を受診してください。

適切な処置を受けるために、

- ①体内に入った経緯や症状
- ②原因の洗剤は何か（成分名、商品名など）
- ③その量はどれくらいか
- ④どんな応急手当をしたか

などを伝え、洗剤が入っていた袋、瓶などを持参することも大切です。

